

# しゃらく互助倶楽部 おかげさまで創業20年

## 生活支援だより

Vol. 24

2025年2月

こんにちは、生活支援が充実した神戸の安全・安心の身元保証サービス、しゃらく互助倶楽部です。

しゃらく互助倶楽部で提供したサービスを皆さまにお届けします。将来的な問題に備えて皆様の参考になれば幸いです。

活動記

### 身寄りのない高齢者が安心して暮らせる 社会実現のため、業界団体設立の動き



2025年の冬、ラニーニャ現象の影響で非常に寒い日が続いています。本記事を執筆している本日も、今季最強寒波が流れ込み、日本海側では飛行機や電車の運行停止や、高速道路の積雪と凍結による通行止めが多発しています。神戸の最高気温も4度と、体に応える寒さです。会員の皆様や読者の皆様も、寒さに負けず乗り越えていただきたいと思います。

さて、2025年2月2日（日）の日本経済新聞朝刊に「終活支援ルール整備へ」という記事が掲載されました。記事の中で強調されていたのは以下の点です：

1. 2023年度に全国の消費生活センターに寄せられた相談が355件と、10年間で3.2倍に増加
2. 利用者の意向に反して財産を事業者に遺贈する遺言書が作成された事例
3. 料金体系や解約時の返金ルールの明確化
4. 情報開示の強化

この「生活支援だより」でも国の動きなどを何度も紹介してきましたが、民間レベルでも動きが出てきました。その背景には、身元保証業界が法的拘束力がないことに加え、第三者の目から見にくいサービスであることが挙げられます。私たちの考えでは、身元保証サービスを提供する業者が会員様の金銭管理に加え、成年後見人も担い、遺言書作成のサポートまで行う形はリスクが高すぎると思います。

その理由として、身元保証サービスは「家族の代わり」であり、成年後見人は「本人の代わり」を担うものと理解する前提で以下の点が挙げられます：

1. 金銭管理の管理監督は誰が行うのか？会員様本人以外のチェック機能が必要
2. 家族の代わりが本人の代わりの成年後見を行うと、本人の意思にかかわらず金銭財産を全て触れるリスクがある
3. 判断能力が低下した高齢者に対して、誘導的に遺言書を作成するリスクがある

記載しだすときりがありませんが、やはり身元保証サービスとお金や契約にまつわる事（金銭財産管理・成年後見）は分離したサービスを実施しないと、リスクの軽減にはつながりません。

話を戻しますが、身元保証事業者は全国に約400社あると言われていています。当然ながらこれだけの数があれば、サービス内容や質、価格、契約書の内容なども異なります。今後、契約を考えている方にとっては、どの業者を選ぶべきか迷われると思いますが、国の認定基準や業界団体の基準が明確化されていけば、選択の参考になるかと思います。

私たちしゃらく互助倶楽部も、最も安全で安心できる神戸の身元保証サービス会社を目指して、今後も尽力していきたいと思ひます。

月	火	水	木	金	土・日
		1	2	3	4・5
← 年末年始休業 →					
6	7	8	9	10	11・12
支援(居室整理及び郵便物整理) 新年挨拶回り	意思表示書作成 新年の挨拶回り	支援(居室整理) 支援(旅券申請付添)	支援(パラの剪定)	支援(金融機関外出付添) 支援(受診付添3 医療機関)	
13	14	15	16	17	18・19
	支援(納骨堂申込見学付添同行) 支援(入院給付金手続き)居室整理	支援(金融機関外出付添)	支援(確定申告用の書類等整理)	旅リハ	
20	21	22	23	24	25・26
支援(書類整理) 居室整理 会員様近況把握の架電	意思表示書更新作成 会員様近況把握の架電	支援(業者様との会議に同行付添) 介護タクシー 施設入居者様訪問	会員様近況把握の架電	支援(居室整理・書類整理)お買物代行	
27	28	29	30	31	
支援(書類整理等) 介護タクシー	支援(公証センター付添)	支援(主治医の説明に同行付添) 介護タクシー	支援(外出付添・お買物等)	支援(書類整理、お買物同行) 支援(お買物代行) 互助説明	

## 生活支援で公正証書遺言の証人に

最近、会員の方から公正証書遺言を作成したいとのご連絡を頂きました。しゃらく互助倶楽部では、金銭・財産に関わることは弁護士などの専門職に一任しており、公正証書遺言や自筆遺言の内容には関与しない方針をとっています。

そのため、会員様には契約時に立ち会った弁護士に連絡し、直接会員様に対応して頂きました。本来であれば、そこで弁護士に一任してしゃらく互助倶楽部の業務は終了するはずでした。

公正証書遺言を作成するには、様々な書類を整理する必要があります。それだけでも大変なのに、作成時には公証役場で証人が2名必要です。これまで多くの会員様が公正証書遺言を作成されましたが、1名は弁護士、もう1名は弁護士が手配することが多くありました。しかし今回は、会員様から「小倉さん、あなたに証人をして頂きたい」という強い希望があり、私が立ち会うことになりました。運転免許証と印鑑を持ち、生活支援の一環として証人を務めさせて頂きました。

その後、会員様から「これで安心できる。遺言書の紛失の心配もないし、原本が公証役場にあるから何があっても大丈夫。ずっと気になってたんよー、小倉さんありがとう！」という言葉頂き、安全と安心の大切さを改めて感じました。

# 今月のご相談

## 「海外で仕事をしており、神戸で一人暮らしをする母が心配」

1月末日、お電話を頂きました。90歳前の母親の施設入居を検討しており、身元保証サービス、特に緊急対応についてお話を伺いたいとのことでした。電話の主は、海外で仕事をしている息子様で、90歳前の母親が一人暮らしをしていることを心配して一時帰国されていました。福祉専門職からしゃらく互助倶楽部を紹介されてのご連絡でした。

息子様としては、施設入居が最も安心して仕事にも集中できると考えていましたが、母親は住み慣れた自宅にいたいという希望がありました。結果的に、母親の希望を尊重し、自宅での生活を続けることが選択されました。

しかし、その場合、息子様の心配は解消されません。そこで、しゃらく互助倶楽部と契約することになりました。海外にいる間は、緊急対応だけでなく、病院への付き添いや生活支援を行い、定期的に息子様に報告することで、施設入居まではいかなくても安心できる環境を提供します。

今回は1月31日（金）に相談を受け、土日に調整して2月3日（月）に契約と、しゃらく互助倶楽部始まって以来最短の契約期間となりました。

## スタッフの日日是好日「ことわざ」

私は、活字が大好きで、身近にある何でも紙面に目を通しては、言葉遊びをして喜んでおります。日々目から入る言葉、耳から入ってくる楽譜のような言葉が、一日中溢れております。中でも、月に一回必ず参る大本山須磨寺の中に「五猿の由来」があります。私は、怒らざる、聞かざる、見てござる、言わざる、みざる、心を律しながら「口は禍の元」慎まなければと反省しますが、行うは難しいです。本年も笑顔で何かしら、一つ人の輪の中で、人らしく優しい心で頑張ります。引き続き宜しくお願いいたします。 By 小薮





多くの方が、できれば最後まで自宅で過ごしたいと思われるのではないのでしょうか？私自身も、住み慣れた家と地域で最後までお住まいになることをお勧めしています。ただ、環境や立地の問題でそれが難しい方も多いのが現実です。

選択肢の一つとして、高齢者専用マンションがあります。私が知る限り、車で15分以内の場所に5つほどあり、2025年4月には垂水区で新しいマンションの入居が開始されます。高齢者専用マンションの特徴は、バリアフリー設計や緊急対応、マンション内のレストランや大浴場、医療・福祉機関との連携など、安心して住める環境が整っていることです。ある程度自立している方にとっては、非常に安心して住める場所だと思います。

一方で、高齢者専用マンションの運営主体が医療・福祉分野を直接運営しているわけではないため、連携先が実際には存在しないといったトラブルや、要介護度が上がると専門施設に移らざるを得ない場合もあります。また、共益費が高く、売却時にも様々なハードルがあると聞いています。

ある程度自立している方であれば、同じような方が多く住んでいるため、お友達ができて楽しい日々を送れるかもしれませんが、メリットとデメリットをよく考えて選ぶ必要がありますね。

## 旅リハ

## ジョン・フォードの景色を見に

テレビがまだ白黒だった時代、馬に乗って颯爽と走るジョン・フォード。幼少期に憧れた西部劇映画「黄色いリボン」の舞台、モニュメントバレーに行きたいというご希望にお応えしました。

関空からロサンゼルス経由でラスベガスに入り、そこから陸路でモニュメントバレーへ。赤茶けた巨大な岩柱が特徴の自然の地形に、自然の偉大さを感じる旅行でした。70歳前のお客様も足を引きずりながら、目の前の絶景の中でジョン・フォードが走り抜ける姿を想像していたに違いありません。

その後、アンテロープキャニオンやグランドキャニオンを訪れ、アメリカの広大さと自然の尊さを感じる旅となりました。

何より、お客様ご自身の「夢」が叶ったことが一番嬉しかったです。

写真： 上：モニュメントバレー  
中：グランドキャニオン  
下：アンテロープキャニオン

